

第1回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第1回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年3月28日（金）午後2時～4時
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	協議会委員28名（欠席1名）
傍 聴 者	2名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 各委員自己紹介 3 事務局職員紹介 4 配付資料説明 5 今後のスケジュールについて 6 高円寺地域の小中一貫教育の取り組みについて 7 その他
資 料	資料1 高円寺地域における新しい学校づくり計画 資料2 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱 資料3 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会委員名簿 資料4 今後のスケジュール 資料5 懇談会の運営について

学校支援課長	<p>定刻となりましたので、第1回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開会いたします。</p> <p>懇談会委員の皆さまにおかれましては、それぞれのお仕事等ご多忙のことは承知の上、委員就任のお願いをしたところ、全員の方からご快諾をいただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>高円寺地域における新しい学校づくりは、子どもたちの教育環境の向上に向け平成21年度から地域の皆さまと教育委員会で意見交換を重ね、また一昨年3月からは計画策定準備会において、1年間をかけて地域の皆さまで検討していただき、検討内容を報告書としてまとめていただきました。</p> <p>教育委員会では、この4年間の集大成としての「高円寺地域における学校づくり計画」を素案・計画案の段階でもさらに皆さまからいただいたご意見を反映させたいと昨今11月に策定いたしました。</p> <p>懇談会では、この計画に基づき、杉四小、杉八小、高円寺中で現在行われている教育の成果を大切にしながら、より魅力ある学校づくりに向け皆さまと一緒に様々な教</p>
--------	---

	<p>育課題を検討してまいりたいと考えています。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、懇談会開催にあたり、教育長からごあいさつ申し上げます。教育長よろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>皆さん、こんにちは。本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>高円寺地域における新しい学校づくり懇談会ということで、本日、第1回目の会合をもつことができました。この間、皆様方におかれましては、様々な意見がある中で、前向きに検討いただき、ここまで運んでくることができましたことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>平成21年から、線路の北側にある第四小学校、高円寺中学校、そして、線路の南側にある第八小学校、さらには杉並第三小学校、第十小学校、高南中学校、こういった学校を広く捉えて高円寺地域のこれからの学校のあり方をどう考えていくべきかについて様々な話をしていただいたところです。そして、第一段階として、杉並第四小学校、杉並第八小学校、そして高円寺中学校の高円寺地域の北側について話を進めていったらいいのではないかとのご意見もいただき、こうした懇談会を設けて、今後の学校のあるべき姿を検討していくというところまで進んでまいりました。</p> <p>ご承知のとおり、この間、決して平坦な道ではありませんでした。様々なご意見をいただきながら、できる限り多くの方々の考えや思いを受け止めていくにはどうしたらよいか。古い伝統をもち、それぞれの学校に関わるひと達には固有の思い出があり、固有の財産があり、それをどのように継承していくか、そう考えますと、大変重たい中身であり、なかなか意見がまとまらないという時期もあったかと思えます。そういった中で、子どもたちのためにできる限り良い学校をつくっていきたい、高円寺地域に新しい伝統を生み出していきたいということからこうしてお集まりいただき、これまで5年かけたのと同じように、これからまた5年間をかけ、平成31年の開校に向けて、どのような学校づくりをしていけばよいかを考えていただければと思います。思いはただひとつ、子どもたちのために素晴らしい学校をつくりたい、この夢を結実することができますように、お力添えを賜りたいと改めてお願い申し上げます。</p> <p>この後、担当から事務的なことや杉並区が推進する小中一貫教育について説明がございしますが、是非ご理解を深めていただき、今後の話し合いの糧にいただければ幸いと存じます。</p> <p>最後に、3月31日に人事異動がございします。本日参加している校長、副校長の中には異動する者も出てまいります。また、新年度、新しいスタッフで取り組んでいくこととなりますが、それにつきましては、十分に事務や情報を引き継ぐことによって、そごがないよう、今まで以上に務めていけるように指導、助言、支援をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>簡単ではございますが、最初にご挨拶の機会をいただきまして、ありがとうございました。</p>
学校支援課長	<p>教育長、ありがとうございました。教育長は所用により退席いたしますので、ご了承ください。</p> <p>この懇談会は、後ほどご説明します運営要綱により、高円寺中学校長が会長として進行することになっております。ここから先は、杉山先生の司会でお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>

<p>会長</p>	<p>皆さん、こんにちは。よろしくお願いします。</p> <p>準備会にいらした方もいれば、新たに加わった方も多くいます。是非、様々なご意見をいただき、良い学校をつくっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>最初に各委員の自己紹介をしたいと思います。副会長から順にお願いします。</p> <p>(各委員自己紹介)</p> <p>皆さん、よろしくお願いします。</p> <p>次に、事務局の自己紹介をお願いします。</p> <p>(事務局自己紹介)</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>それでは、次第4の配付資料の説明を事務局からお願いします。</p>
<p>学校支援課長</p>	<p>それでは、配付資料についてご説明します。</p> <p>まずは、資料1「高円寺地域における新しい学校づくり計画」です。</p> <p>懇談会委員の皆さまは、すでに一度はご覧になったことと思いますので、ごく簡単にご説明します。最初に2ページをお開きください。この計画は、杉並区教育ビジョン2012に掲げる「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」を目指し、高円寺地域の子どもたちにとってより望ましい教育環境を地域と共につくりあげていくことを目的とし、杉四小・杉八小・高円寺中による施設一体型の小中一貫教育校を新たに開校させるものでございます。次に4ページをお開きください。新しい学校の校地は現在の高円寺中の校地を活用するとともに、教科学習や部活動等教育活動の選択肢が広がることから杉四小の校地・校舎の活用も検討してまいります。開校時期は平成31年4月とし、教育目標や学校名等についても皆さんと検討していきたいと考えております。7ページをお開きください。開校までのスケジュールですが、表では「新しい学校づくり協議会」となっておりますが、この懇談会で開校まで様々な課題を検討してまいります。平成27年度から基本設計・実施設計となりますので、ここに反映させる内容については、26年度から検討していく必要があります。また、教育内容・教育活動等や児童・生徒、教職員の交流などは先生方を中心に検討していただきますが、懇談会でもいろいろご意見をいただければと考えます。以上が計画の内容になります。</p> <p>次に資料2「高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱」です。</p> <p>まず、この懇談会が計画では協議会となっていたものが懇談会という名称になり、おやっと感じた方もいらっしゃると思いますので、まずご説明します。</p> <p>これまで区では、会議体の名称をそれほど厳密には使い分けてこなかったのですが、現在、全庁的な見直しが行われています。協議会・審議会というものは、行政から諮問を受けるなどして最終判断を下す会議体になります。今回のこの会議体は、各課題の最終決定を行う機関ではないということから懇談会という名称になります。皆さんと意見交換し、その思いは最大限尊重したうえで、最終的には教育委員会の責任において決定するという形になります。平成23年度から検討を行っている新泉和泉地区の小中一貫教育校設置協議会も新年度から名称を懇談会に変更します。とはいえ皆さんのお考えを最大限活かすというこれまでの基本的な考えは変わりませんので、ご理解いただければと思います。次に会の構成ですが、高円寺中学校校長が会長として司会進行し、杉並第八小学校校長が副会長の任につくということであらかじめ要綱に規定しています。また懇談会の開催は学校教育担当部長が行います。この懇談会は</p>

	<p>原則公開になり、事前申し込みによりどなたでも傍聴が可能です。保護者や町会関係者などの皆さまにお声掛けしていただき広く関心をもっていただければ幸いです。また、学校教育担当部長が必要に応じて非公開にすることもできることとしております。</p> <p>次に資料3「委員名簿」をご覧ください。町会やPTAなどから代表としてお入りいただいておりますが、学校関係者としてお入りいただいている方について少し補足させていただきます。豊川さん・中澤さん・増田さん・松谷さんは学校支援本部の学校・地域コーディネーターとしてご参加いただいております、武藤さんは高円寺スポーツクラブの代表として、中島さんは児童館などで活動する母親クラブの代表として、小野家さんは、就学前保護者の代表として高円寺北子供園PTA会長としてご参加いただいております。また、高円寺中の母体校としての杉三小から横山校長先生と上野さんにもご参加いただいております。</p> <p>資料4と5については次の議題でご説明します。</p> <p>配付資料の説明は以上です。資料1から3までにつきましてご質問・意見等があればよろしくお願ひします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から資料1から3までの説明がございました。これに関して、ご質問や不明な点があったらお願ひします。</p>
委員	<p>先ほどの説明の中で、計画で「協議会」となっているものが、「懇談会」となることには問題はないのでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>皆さまからのご意見を頂戴し、意見を踏まえ、最終的に教育委員会で決定する会については懇談会という名称になることとなりました。考え方について、何か変わったことはございません。</p>
委員	<p>懇談したものを教育委員会で決定するという流れになるという説明ですが、計画の中では、「協議のうえ、決定」と記載してあり、協議会が決定するとも読み取れますが、いかがでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>検討事項について、懇談会にて協議していただき、出された意見から、従前より最終的な決定は教育委員会がしているものでございます。皆さまからの意見を最大限踏まえて決定してまいります。</p>
委員	<p>計画から変わっているように思えてしまいます。他の委員から何かありませんか。</p>
会長	<p>この件に関しまして、何かありませんか。</p>
委員	<p>事実上の決定と法律的な決定とがあると思います。具体的な例を挙げれば、学校名の検討があります。学校名は教育委員会で議案審議され、決定されます。さらに、議会の議決を必要とする杉並区立学校設置条例に規定されることにより最終的に確定されます。従前の協議会と懇談会の中身については変わらないと理解していただければと思います。</p>
委員	<p>ただ、そのことにより、ストレートに意見がでるか変わってきてしまうように思います。</p>
委員	<p>繰り返しになりますが、従前の協議会で行われてきた決定は法的なものではありません。ただし、教育委員会は会から出された意見を最大限に尊重します。事務局から教育委員会に対して、出された意見は丁寧に報告してまいります。</p>
委員	<p>懇談会は、従前の協議会がもつ決定権がないというわけではないと理解してよろし</p>

	いですか。
学校支援課長	決定権と言うと、従前と同様にありませんが、最大限尊重される意見をいただくという点では、従前の協議会と変わりません。
委員	例えば懇談会で多数決により、懇談会の決定とする事項があった場合も同様でしょうか。この懇談会でより多くの意思が表れるとしたら、この会は、各代表の母体があり、そこから出てきた意見であり、相当に重たい意思と考えられます。ただ意見交換のみを行っていきようなゆるいかたちでの会であるならば、積極的な参加意欲が持てなくなります。選ばれた者たちの多くの意見が反映されていくということが、保障されることが必要です。
学校支援課長	教育委員会としては、おっしゃるとおり多数の意見は重い意思として受けとめてまいります。
会長	よろしいでしょうか。 ニュアンスはご理解いただけたでしょうか。どこまでの範囲について決定させてもらえるかも疑問ではあると思います。教育の中身は教員に任せるとか、これはそうではないとか、様々だと思います。意見交換の中で、これはこうする、これは専門に任せるといったものも出てくると思います。それも含め、最大限に意見を汲んでいただければ幸いです。
委員	この場で決定されたものを教育委員会で議題にするかと思いますが、その中で教育委員会として賛成できないというものがあつた場合は、懇談会に一度戻していただき、また進めていくなかたちになるのでしょうか。
学校支援課長	そのようにいたします。
会長	そのほかにはよろしいでしょうか。 (質疑等なし) 先に進みます。次第5の今後のスケジュールについて事務局から説明願います。
学校支援課長	資料4をご覧ください。1については、先程説明しました計画に記載されているものでございます。 2は、決まったものではなく、提案として、懇談会を概ねこのような流れで進めてはという目安をお示ししました。25年から26年にかけては、目指す学校像について。高円寺地域が目指す魅力ある学校について夢を出し合っていたいただきたいと思いますと考えております。さらには、意見交換する中で小中一貫教育や施設一体型の一貫校への理解を深めていく必要があるとの意見を多くいただいておりますので、この懇談会でも意見交換を進めていきたいと思っております。通学区域についても議題にします。27年～28年にかけて基本設計・実施設計に入っていきますので、設計に委員の思いを反映させることや、また、工事期間中の代替施設や工事の安全対策についても検討してまいります。さらに、学園名、29年以降は学園章や学園歌などのより具体的な内容を検討していきたいと思っております。 ただ、これも概ねの目安でございます。当然、複数年かける議題もありますし、懇談会が進む中でここにはない議題も検討したほうがよいものは提案していただき進めていきたいと考えています。 裏面には、永福や新泉和泉の懇談会の流れを参考までにつけていますが、色々と条件が異なりますので、このとおりにやらなければならないものではなく、高円寺は高円寺でまた別のやり方で進めていくということによいと思っております。

	とりあえず、ここまでで何かございましたら、お伺いします。
会長	いま、スケジュールについての説明がございました。 資料の中の2番が具体的なスケジュールになってまいります。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。
委員	「学園」と表記されていますが、何か意図はありますか。
学校支援課長	他の自治体の施設一体型小中一貫教育校を見ても、学園名があり、小学校と中学校があります。新泉和泉におかれましても、杉並和泉学園、新泉和泉小学校、和泉中学校となる予定です。高円寺地域では、学園名はいらないということになることについても問題ありません。学園名は通称名になりますので、卒業証書などはそもそも小学校名や中学校名で渡されます。普段皆さんが使用する名称が学園名となります。
会長	通称名と、法的な小・中学校名があるということです。
委員	新泉和泉では、学園名の選択肢を設け、地域の方々に対し、投票してもらった経緯などもございます。そういう決め方も含め論議していただければと思います。
会長	他に何かありますか。事務局に問い合わせみたいなものでもあれば。
委員	先のことになると思うんですけど、ここにある検討内容によっては、多少メンバーが増えたりする可能性もあるのでしょうか。
学校支援課長	今後、話を進めていく中で、ある課題については学識経験者の意見を聞いてみたいなどの希望があれば、呼び出すこともできるかと思います。
委員	それはこちらから提案するというので、次回こういう話をするから呼んでほしいということですか。
学校支援課長	そうですね。要綱上でも第5条の2で学校教育担当部長は必要があると認めたときは委員以外の者の出席を求めることができますとしています。
会長	いまの質問について、もう少し詳しく言ったほうがいいのかも说不定い。
委員	例えば、施設のことでは、学識経験者とかではないですが、地域のこういうひとがいたらわかるよね、っていう内容であったり、特に学区域のことや、安全対策とかは、地域のひとがもっと入ったほうが良いと思います。
新しい学校づくり係長	議題によって少しづつ検討の仕方も異なると思います。全てが全て、必ずしもここにいる30人弱で話していけるわけではありません。例えば、通学路。通学路はここで話をしてもよくわかりません。前例を言えば、PTAに地区班というものがあると思いますが、そういった方々も含め、実際に歩いてみて、課題となる箇所を確認しています。実踏時には専門的で、区道や都道を所管している警察の方にも同行いただきました。校章などについても、部会を設置し、ある程度選択肢等を絞り込んだ後に親会である懇談会で最終的な判断を行うような効率的な手法をとっております。 その部会については、各項目について話が進む中で、これはというものを委員や事務局からの提案のもと設置していくこととなります。必ずこの項目は部会を設置するというものでもありません。
会長	だんだん具体的なことがわかってきますね。他にもこういった具体的なものがあればいかがですか。教育内容とかは、副会長いかがですか。
副会長	教育内容に関しては、3校で話し合いを始めています。教員も不安や焦りがあって、いつ何をどうやって決めていけばいいのかなどと思っています。今年からは3校の教員が集まって一緒に教育の中身、学校の決まり、行事とか校務分掌ごとに分かれて検

	<p>討していくことになりました。</p> <p>行事もできるだけ一緒にやっていきたいと思っています。今年度も移動教室を杉四小と一緒にしたかったんですけど、かないませんでした。来年度はそういった行事とかも一緒にやっていければと考えています。</p>
委員	<p>通学路の安全対策ですが、歩道橋を渡るのが一番安全ですが、環七を渡る時の信号が気になっています。中央線ガード下の環七を横断する信号と環七東側にある南北に細い道を渡る信号に若干ずれがあります。間違えてそこも一緒に渡ってしまう子どももいるかもしれないので一致させたいと思います。環七の横断だけではなく、そういったところの安全配慮が必要だと思います。</p>
会長	<p>そうですね。そういうのは専門の部会を設けますか。</p>
学校支援課長	<p>懇談会の下に安全対策部会を設けて、保護者を増やして、警察にも入ってもらいながら検討し、その結果を懇談会に報告し、それについてまた意見交換をしていくということも必要だと感じています。</p>
会長	<p>そのように進めていくようです。</p> <p>副校長先生はいかがですか。</p>
委員	<p>この懇談会の下に安全や教育内容などの部会をいくつかつくっていくようですが、それもここで決めていくのでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>そうですね。この懇談会の中でこれは部会をつくって検討しようというご意見をいただいて、部会ができるものかと思います。</p>
委員	<p>そのスケジュール的なものはこのあと話すんですか。</p>
学校支援課長	<p>それは討議していく中ででてくるものだと思います。</p>
委員	<p>項目によるかと思います。安全上のことであれば、道路のことだと思いますので、区や都の道路政策に関わる問題かと思います。そうすると、平成 29 年から平成 30 年で検討するという案が出ていますが、それでは遅いんじゃないかと。もっと早めに都や区の対応が必要になってくる。工事が伴うのであれば、来年ぐらいから積極的に動かないといけない。そして、通学路と安全対策、合わせて通学区域だと思います。少しこの表より前倒しに動いた方が、後々スムーズになる。懸念事項はあえて早めに対策を練るほうがよいという印象をもっています。</p>
学校支援課長	<p>この検討時期はあくまで案です。皆さんからの意見で前倒しにするものがあればそうする必要があると思います。けど、通学区域と通学路のように、通学区域の方針が決まらなると通学路については話せないなどの順番を守らなければいけないものもあると思います。</p>
会長	<p>急がないと間に合わないものとかも出てきますね。それは、また意見を出し合っ て政策的な順番は守りながら変更していけばいいですね。スケジュール変更もありう るということで、よろしくをお願いします。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>私は気になるところがありまして、計画の中には施設の複合化という項目もありま す。この表には複合化について触れていないようですが、計画に記載されている以上、 懇談会の中でもなんらかのかたちで触れていくべきだと思います。</p> <p>しかし、計画には特別支援教育のことも触れています。けど、これは懇談会では意 見が出しづらいものがあって、これは区の施策になってくるので、そちらで専門家 を入れ検討してもらう必要が出てくるかと思います。</p>

	<p>ですので、ここにある以外のことで、皆さんがこれは検討すべきだという意見も出してもらい必要があると思います。必要があれば、それは部会でということもあるでしょうが、懇談会はそういったイメージでよろしいでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>はい。複合化についても魅力ある学校づくりに関わってくる議題になると思いますので、早い段階で議題にあがってくるのかと思います。</p>
委員	<p>魅力のある学校ということで、子どもたちが元気で明るく未来に向かってがんばるようなイメージですけど、魅力あるというのは、学習活動だけにとどまらないクラブ活動だったり学年の上下関係だったり小中の結びつきがうまくいくなど、そういったものが魅力だと思うんです。</p> <p>同時に親のほうからすれば、授業やクラブ活動があるときは学校にいるからいいけど、終わった後の自由になった子どもたちの居場所なんです。区の方の施設再編では児童館のことも考えています。学童クラブは、基本的に学校に併設するような流れになってきているようです。既存の学校に学童クラブが入るスペースがあるのか。また、学区域の広さにもよるとは思いますけど、1校に1つだけというのが大原則ではないだろうか。</p> <p>高円寺の新しい学校ができたとき、暴論かもしれないけど、学童は一つではなく二つあってもいいのではないかと。学童クラブを終えて、午後5時頃、冬の暗い時間に環七を渡って、南に1キロ近い距離を帰るとなると大変心配です。それなら、早い時間のうちにより家に近いとこまで帰ってきておいて、そこに学童クラブのようなものが設置されていたら、安全かと思います。例えば、学童時に地震が起きてしまうと、親は引き取りに行けないし、子どもも自力で帰れないだろうと。減災というか、目減りさせる必要があると思います。区の他の部署にまたがる案件になってくるかもしれないけど、そういったことも発言できるような場があってもいいかなと思います。</p>
会長	<p>すみません、ちょっと内容のとこまで入ってきちゃっているような気がします。そういう分野でも話さなければいけないことは出てくるかと思います。学童クラブだけではなく、地域のスポーツということもあるかもしれませんし、学校だけでなく、いろんなところで話が展開するかもしれない。その場合は、部会をつくって関係者や詳しい方の中で検討してもらってことですかね。</p>
学校支援課長	<p>子どもたちの教育環境だけでなく、学校は地域のコミュニティ拠点ですから、その観点からの議論も必要だと思っています。</p>
会長	<p>我々だけで検討しきれないものについては、部会をつくるということです。他にはいかがですか。</p>
委員	<p>準備会報告書の中で、要望ではないでしょうが、環七の安全対策としてペDESTリアンデッキの設置が書かれていたかと思います。それらも踏まえて計画が策定されているかと思いますが、この内容は懇談会の中でできるものではない内容です。それらについて都に対してすでに話をしていたりするのでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>懇談会でも話していただいて、改めて意見が出れば、行政内部に持ち帰り、区から都に対して投げかけるようなことも必要になってくるかと思います。</p>
委員	<p>けど、これは学校ができるからというわけではないですよ。まちづくりという面もありますので、並行して、行政同士で働きかけていただきたいと思っています。その必要性というのをこの懇談会で意見を述べていくというのはさらに必要なことだと思います。</p>

会長	懇談会の意見聴取を待っていたのでは遅いというのも結構あるかもしれません。ですから、そういったものは区に先回りをしていただかないといけない部分が出てくると思います。それはこれから懇談会と教育委員会の中で話していけたらと思います。
委員	資料4で過去の永福や和泉の経緯を見ていると、跡地について触れていないようですが、この懇談会では話さないということになるのでしょうか。
学校支援課長	そうですね。跡地利用につきましては、区の施設再編計画のこともありますので、そちらで検討していくことになります。
新しい学校づくり係長	跡地利用は教育委員会の範囲を超えることになります。跡地利用は地域の方々の意見を聞かないと決められません。懇談会として意見を言うことに問題はないのですが、学校を大きく超えた内容になってくるので、討議する場所としてはまた別に場が設けられるようになるかと思います。
会長	懇談会は計画に基づいて進めていきますので、検討事項の一つとして、懇談会委員の方の意見を述べていただくのは問題ないと思います。 では、よろしいですか。資料5のほうに入っていきたいと思います。
学校支援課長	それでは、資料5についてご説明します。懇談会の運営についての考え方になります。 委員の代理出席は原則不可としています。ただし、皆さんお忙しいので別の方をオブザーバーとして出席いただくということができます。 今後は5年間という長い期間となりますので、委員の辞職や交代があるかと思えます。まず町会や支援本部、地教推は母体から出てきていただいておりますので、交代する場合は新たな委員を選出いただきたいと思えます。各校の保護者は2名ずつ出ていただいておりますが、PTAの役員は毎年変わるかと思えます。2人とも変わってしまうと継続性がなくなってしまうので、できましたら1名は残るようなかたちで選出いただければと思えます。学校関係者は、校長や教育委員会と協議の上、新たな委員を選出していきます。校長や副校長、学校教育担当部長は充て職となりますので異動があれば後任が引き継ぐこととなります。 この懇談会は、原則として公開として、傍聴も可としています。何か非公開で行ったほうがいいのかあれば、非公開とすることができるとしています。傍聴は資料の用意の関係もありますので、事前申込み制とさせていただきますので、学校支援課までご連絡いただければと思えます。 懇談会は、録音し、要点筆記を事務局で作成し、ホームページ等で公開されます。その際は、委員名は伏せ、「委員」と表記したかたちで公開されます。資料については、懇談会后、早々にホームページに掲載しますが、会議録作成には時間がかかり、さらに出席委員の方々にも掲載前に確認いただくこととなります。本日の懇談会も開催日時決定後、ホームページに掲載しております。今後もこのような方法で会の開催の周知に努めたいと思えます。これまでも永福や和泉で発行してきた協議会ニュースを高円寺でも発行し、地域や保護者に対して、会議内容の情報提供に努めていきたいと思えます。 懇談会の開催場所は、できましたら3校での持ち回りを考えていますが、この会の人数が入るキャパの問題もありますので、校長先生と相談しながら決めてまいりたいと思えます。 資料2の要綱に定めがないものにつきましては、皆さんの意見をお聞きしながら教育委員会のほうで定めていきたいと思えます。

	教育委員会としては、懇談会をこのように進めてまいりたいと思います。何かご意見等あればお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いします。
会長	資料5についてご意見、ご要望があればお願いします。
委員	資料の内容とは、ちょっとずれてしまうんですが、父兄の仲間だとか、近隣の方の中にはこの計画に対して否定的な意見をもってらっしゃる方がいると思います。どこかの会合やまちで会ったときに、どうなっているのとか、反対だとかいう話が出てきた場合は教育委員会に聞いていただくということでもよろしいんでしょうか。
学校支援課長	懇談会はオープンな会議ですので、内容については話していただいて結構です。
委員	この会に対する反対運動というのでも出てくるかと思いますが、そういったグループと遭遇した場合は、教育委員会に問い合わせしてくださいということで。
学校支援課長	意見があるということであれば、教育委員会に出していただければと思います。
委員	計画をつくったのは、教育委員会ですので、何か言い合うとかいうことはせず、なにか意見があれば、教育委員会にということでもいいです。
学校支援課長	ひとつの検討項目について、1回でなにか結論を出すようなことはしていきませんので、地元の意見についてはこの場で発表いただくことにもなると思います。
委員	よろしいですか。懇談会ニュースですが、どのくらいのペースで発行されるのでしょうか。
新しい学校づくり係長	時期にもよるかと思いますが、お知らせする内容があまりないということもあります。前例で言うと、年に3回程度。はじめはあまり内容がなくて、だんだん交流とかも盛んになってくるとその内容について掲載したりもするかと思います。年によっても発行数は異なると思います。
学校支援課長	和泉の方では、学園名を決める時に地域にも意見を聞きたいということでニュースを使用して、地域に配って意見を募集するということがございましたが、そういったことでも部数は変わってきます。
委員	ニュースを出すとき、次年度の就学説明会のタイミングとかも考慮いただいたほうがいいかと思います。
新しい学校づくり係長	次年度の就学案内が発行されているかと思いますが、そこには高円寺地域の新しい学校づくりについて来年度から掲載されていくようなかたちになります。
委員	会議録にはだれの発言かわからないよう委員との表記で載るとのことですが。
新しい学校づくり係長	そうですね。今日は1回目ということで顔合わせ程度でしたので用意しておりませんでしたが、次回以降は速記者が入ります。それをもとに読みやすく校正し、委員の名が掲載した状態で皆さんに会議録案を確認していただきます。皆さんからの校正を反映したものを作成し、そこから委員名を「委員」との表記に変更し、ホームページに掲載することとなります。
会長	よろしいでしょうか。その他、何かありますでしょうか。 (質疑なし) それでは次第6に入りたいと思います。現在の高円寺地域の小中一貫教育について、あるいは小小連携、3校の合同研究会の取組みについて、杉四小の佐藤校長から説明をお願いします。
委員	それでは、3校を代表しまして、私のほうからご説明をいたします。 これまで3校で小中一貫教育に取り組んでいまして、保護者に対しては機会を設け

説明させていただき、地域に対しては2年前から小中一貫教育のニュースレターを発行し周知を図っております。今月第3号が発行されました。

3校の共通した思いは、「ともに高円寺の子どもたちを育てていこう」という当たり前のものです。しかし、これまでは3校、保護者、地域がそれぞれに思い、子どもたちを育ててきましたが、それを「ともに」ということで、学校・保護者・地域と一緒に考えていこうとなってきました。ニュースレターを発行するには3校が同じ思いで相互連携してなければできません。児童生徒同士や教員同士が何ができるかというのがポイントになります。

それをニュースレターでも第一に紹介しております。高円寺中では小学生との対面式を行います。子どもたち同士がこういったところから結びつきができてきます。教員同士が3校の子どもたちを紹介していこうと高円寺駅のギャラリーをお借りするなど、ほかの地域では難しい取組みも含め、高円寺地域では進めております。

小中一貫教育の取組はこれまで発行されたニュースレターを見ていただくのが一番わかりやすいかと思えます。例えば第1号では、高円寺中と杉四小の平成19年からの取組の流れが紹介されております。第2号では杉八小も含めた3校での取組を紹介しています。第3号では、3校が共通認識をもち、かかわりをつなぐを強化していくというものです。これからは小中だけの連携だけではなく、杉四、杉八の小学校同士が同じスタンスでつながっていけるかがポイントになってきます。

次に、教員同士の考え方について紹介したいと思います。これまでは小中の違いや小小の違いを考える必要はなく、それぞれの学校が特色ある教育活動を行っていればよかったということがあります。高円寺地域では、小と中の違いをしっかりと認識した中で子どもたちを育てていきます。小学校同士も同様で、杉四と杉八の違いを認識して、ここは一緒にできる、そこはいいものだから参考にしていく、となるよう取り組んでいます。その違いを共有して、協働にもっていく。ともに集って、違いを相互に学ぶことが、ともに高円寺の子を育てることにつながっていきます。

具体的な取組を紹介すると、生活科・社会科では、杉八小では桃園川の緑道プロジェクトという地域を生かした学習を進めています。杉四小では高円寺カルタというかたちで地域の学習をしております。それを基にして、高円寺中1年では、高円寺ってどんなところか学んでいきます。この3つがバラバラかと言えば、そうではなく、杉四小の学習には高円寺中の教員や地域の方が参加しています。高円寺カルタの取組は杉八小に行って一緒に学んでいます。杉八小での桃園川の学習はカルタにも入っています。高円寺をひとつのステージにして3校が協力してすでにやっけて、これからのばしていける小中一貫教育の取組と考えています。ここは小学校同士と一緒にやっけていけるところだと校長同士で話しています。

次、教員のアンケートを3校でとっております。教員から見て、多かったのが、頼られる先輩になれる中学生、目標となる先輩をみつけられる小学生を見受けられるようになり、それぞれに自己有用感をもつようになったと捉えています。また、子どもの学力や心理面について情報を共有し、子に応じた指導の改善が図れたという回答があるのも小中一貫教育が進んでいる証拠でもあります。

子どもの意識調査もしております。杉四小を例に挙げますが、4月、7月、12月、3月でとっており、中学教員のTTが始まる小学4年生に対しての結果では、4月当初から9割の子どもたちが楽しみにしており、3学期まで楽しいという回答が続き、取組成果の表れだと思えます。5年生になると4月の段階では非常に低くなります。

	<p>理由は簡単で去年もやっているからです。しかし、それでも2学期、3学期になると、結局8割に上がってきます。やると、やっぱり楽しいと感じるということです。6年生も同様で、4月では低いですが、9割近く上がってきています。意識の調査なので、効果が出ている証拠かどうかははっきり言えませんが、小中一貫教育への思い、理解はこのデータからわかることかと思えます。ここまでは選択肢によるものですが、文章での回答欄では、中学行くのが楽しみになったとか、給食時間が短く授業が長く大変だとか、実感を自分なりに消化して、それを生かしていこうという意識がアンケートから読み取れます。他にも授業に対する回答や行事に対する回答があり、取組の意図するところは子どもたちに伝わっていることが伺えます。</p> <p>最後に、新校開校に向け、3つのポイントをおさえていきたいと考えております。まず、保護者、地域への理解度を高める。準備会や懇談会の意見でもありますが、まだまだ地域への周知が足りていない状況です。2つ目、目に見える効果も必要ではないかと考えます。学校は子どもたちの先ほどのアンケートのような意識調査で理解はできますが、子どもがどう変わったかを目に見えるかたちで明示することで、保護者や地域の方への周知にもつながるかと思えます。そして最後、3校の協働により、一貫教育を創っていきます。いま、様々な部分で違いははっきりしています。その違いを同じスタンスでつなげていき、平成31年にはひとつのかたちにしていきたいと考えています。</p> <p>今後も「ともに高円寺の子どもたちを育てていこう」という思いで取組みを進めてまいりますので、是非ご理解いただき、ご協力いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。いま、ご説明いただきましたが、高円寺地域における小中一貫教育ニュースレターも3冊目となりました。来年度は生き方を学ぶ教育活動ということで、3校がすでにやっていることをすり合わせていこうということです。杉四カンパニーや飛び出せガッテンプログラムや職場体験だとか、すでにやっていることが実は同じなんです。それをお互いがリスペクトしていけるかというところで動いています。</p> <p>昨日も3校長で今後どう進めていこうか検討していたのですが、ニュースレターの4ページに3校の研究組織を掲載しています。これももう2年目になります。これを来年度は交流活動分科会について、教育計画・交流活動分科会にして、具体的な教育計画をすり合わせていこうと考えています。</p> <p>副会長、補足等ないですか。</p>
<p>副会長</p>	<p>杉八小は、最初に杉四小と高小が区の課題研究指定校ということで小中一貫教育を始めたので、はじめは入ってなく、他との課題研究をしておりました。そしてこっちとの研究が始まり、両校のすり合わせには非常に苦労しましたが、来年度はこちら1本で研究を進めていくこととし、3校と一緒に足並み揃えてやっていこうと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>3つの学校が一つのことをやろうとして、はじめから全てができることはありません。1個ずつ1個ずつお互いに確かめ合いながら刻んでいかないと進んでいけないのが実態だと思います。これから5年間じっくり話し合っ、やりながら検証していきたいと思えます。</p> <p>この取り組みについて何かあればお答えしていきたいと思えます。</p>

委員	アンケートを取ったということですが、マイナス意見とかはありますか。
委員	先ほどは、プラスの意見を説明させていただきました。マイナスの意見もあります。けど、それは、杉四小と高円寺中が離れているから行くのが面倒くさい、一緒にあればいい。給食が違うからそれについての意見とか、あと基本的なところで、自分は高中に進学しないから関係ないかなというものもあります。
会長	細かいマイナスの部分があります。生活指導の点で、中学生が小学生に対してちょっかいを出せば、小学校教員と中学校教員が共同で指導したりします。
委員	それはとても一貫教育としてはいいことだと思います。逆に小学生に対しての指導も高円寺中の校長先生から指導が入りますので、中学生は小学校の校長の話も聞くし、小学生は中学校の校長の話も聞くということは、魅力ある取組みのひとつだと思います。
会長	小学校の生活指導の論理と中学校の生活指導の論理には違いがあります。子どもの成長の段階によって、中学生タイプがいい場合と小学生タイプでやっていかないとダメな場合があります。中学だから中学、小学生だから小学生タイプでいくと子どもが何を指導されているかわからないということもあるんです。そういったところから、我々も生活指導について学んでいるところです。そういう意味で、マイナスが出てきてもプラスに転じるにはどうするか考えながら取り組んでいます。デメリットをほったらかしにしておくことは絶対にありませんので。 他にいかがでしょうか。
委員	なんでもいいでしょうか。
会長	どうぞ。
委員	本日、第1回目の懇談会ということですが、非常に中身が濃い懇談会になったのではないかと思います。 資料4のスケジュールですが、大枠はこれでいいかと思います。この中で一番重要な、「目指す学校像」「小中一貫教育」「施設一体型の小中一貫教育校」の課題をじっくりやっていかなければいけないかなと思います。 会議の進め方ですが、非常に人数もいますので分割したり、全体でまた共有したりしていくようなやり方も必要だと思います。 冒頭、他の委員もおっしゃっていましたが、やはり夢のある素晴らしい小中一貫教育校をつくっていかねばいけないので、この人数がいれば様々な意見が出てきます。先ほどの説明で、現状の3校の取組を聞きましたが、それ以上の魅力ある中身もつくっていかないといけない。そうすると、日本だけではなく、先進的な欧米の取組も参考にしていくこともあるのではないかなと思います。高円寺から世界に発信していくような子どもたちを育てていけるように進めていければよいと思います。 細かい内容、通学路や通学区域の課題は後から話をつめていけばよくて、まずは、この3つの柱を十分に集中して作りあげていくのが必要だと考えます。 先ほど出たように資料には掲載されていない問題点が色々出てくると思います。そういった意味でもこの資料4の2にあるスケジュール案を見直してやっていかないと時間的に遅れてしまうものも出てくるのではと思いますので、そういうふうやっていったほうがよろしいかなと思います。 それと、できれば資料は事前送付していただければ、非常にありがたいです。 未来の子どもたちに十分に発信できる学校をつくっていきたいというのが本日電

	じたことです。
会長	ありがとうございます。分科会形式も考えられるということですよ。
学校支援課長	部会等を設置していくこともあります。 資料につきましても、議論が活発化するように極力事前に送付するよう努めてまいります。
会長	よろしくをお願いします。 いま、次第7のその他についても入ってきていますが、その他について何かありますか。
委員	大雑把でいいので次回の開催時期や部会がいつ頃設置されますか。
学校支援課長	今回は5月中旬頃を考えています。部会については委員の議論を深める中で、部会で検討すべき項目が見えてきますのでその時に随時設置していくようになるものかと思えます。
会長	開催のペースはどれくらいになるのでしょうか。
学校支援課長	1, 2ヵ月に1回という感じですが、検討する内容や部会を設置すればその進行状況にもよることになります。
会長	わかりました。その他はよろしいですか。
委員	現在、3校におけるそれぞれの特色を応援するかたちで学校支援本部があり、PTAがあるとします。いまの一貫教育の取組の中で行事などのすり合わせも同時にやっていくということですが、応援する側の関わり方、支援本部、PTA、コーディネーターがどのような役割を果たしていくか、どのような影響が出てくるか、次回以降にその方針を報告いただければと思います。 もう一点あります。教育長から話もありましたが、高円寺地域全体で広く考えていくという面を考えると、実質は杉八小は高南中とも連携しております。高南中は杉八小と杉四小と関わりがあります。杉八小は複雑なかたちで移行期を過します。そのへんを配慮していただきながら、何か3校で企画していく。また、高南中や杉三小、杉十小にも配慮したかたちで一貫教育を進めていかなければいけないと思います。そうしないと、この計画はたちいなくなってくるように懸念しております。
学校支援課長	それにつきましては、この懇談会というよりも、学校同士や支援本部同士、地教推の中で高円寺全体としての方向性を検討していくようになっていくかと思えます。
会長	それにつきましては、具体的に進んでいるところです。 では、今回は目指す学校像についてですが、これは何か提案とかしていくのですか。
学校支援課長	これにつきましては、委員の皆さまの新しい学校への思いを聞ければと思っていました。
会長	次の小中一貫教育のところですが、いま現状について一方的に説明させていただきました。先ほど、マイナス面はという質問もありました。そのように、事前に委員からこういうところについて聞きたいというものがありましたら出しておいていただくと、それに対する準備ができます。一度、お考えいただき、事務局に出していただくとよいと思います。 また、目指す子ども像と学校像の違いは何かわかりますか。どうでしょうか。
委員	学校は子どもたちの実態を見て、目指す児童像というものがありますが、地域から見た、子ども像、学校像はまた違うんじゃないでしょうか。

委員	私立じゃないからね。公立という立場としてね。
会長	<p>目指す学校としていい学校をつくるということでは、まだ内容は見えにくい。こういう子どもにしていきたいから、こういう学校にしていきたいという論理になるような気がします。もちろん公立学校としての役割を前提にしてということになると思いますが。次の議題については、どういった方向で話すかを少し事務局とつめながら論点を整理したかたちで提示していくようにして空論にならないようにしていきたいと思います。その方が前に進んでいきやすいように思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>ないようですので、それでは、第1回目の懇談会を閉会させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>